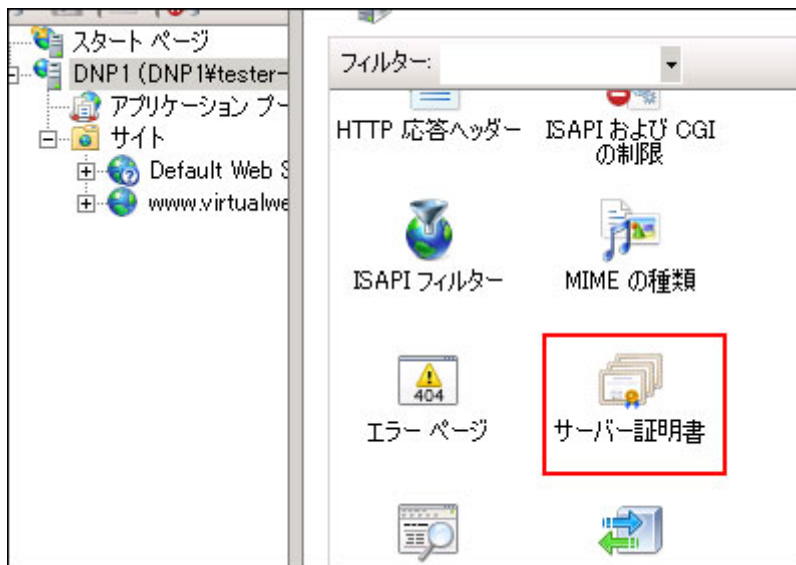


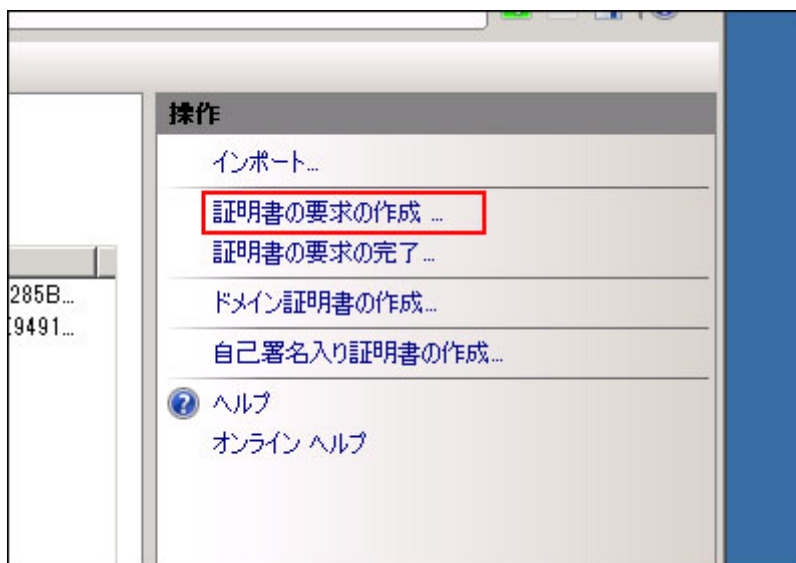
## Globalsign SSL サーバ証明書 CSR の作成方法

ここでは、VPSで利用するサーバ証明書を発行するためのCSR (Certificate Signing Request) を作成する方法をご案内致します。

1. VPSにて[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ]を開き、  
[サーバ証明書]アイコンをダブルクリックします。



2. 右側ペインの操作メニューから、「証明書の要求の作成」をクリックします。



3. ディスティンクイッシュネーム情報を入力し、次へ進みます。

**証明書の要求**

**識別名プロパティ**

証明書に必要な情報を指定します。都道府県および市区町村に関する情報は、公式名称を指定してください。省略形は使用しないでください。

一般名(M):

組織(O):

組織単位 (OU)(U):

市区町村(L):

都道府県(S):

国/地域(R):

前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

- ・ [一般名]は、SSL サーバ証明書のコモンネームをご入力ください。  
半角英数文字 および ハイフン[-]、ドット[.]が利用可能です。
- ・ [一般名][国/地域] 以外は、半角英数文字 および 半角スペース[ ] ハイフン[-] ドット[.]  
アンダースコア[\_] カンマ[,] プラス[+] スラッシュ[/] かっこ[(] 閉じかっこ[)]がご利用可能です。

4. 暗号化サービス プロバイダは「Microsoft RSA SChannel Cryptographic Provider」、ビット長は 2048bit 以上を選択して次へ進みます。

**証明書の要求**

**暗号化サービス プロバイダーのプロパティ**

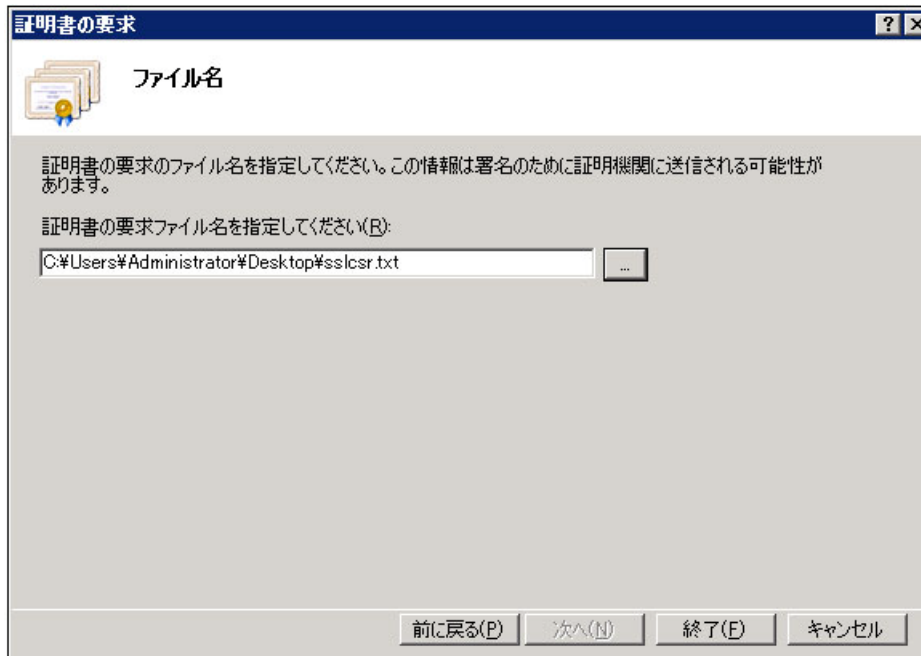
暗号化サービス プロバイダーおよびビット長を指定します。暗号化キーのビット長は、証明書の暗号化の強度を決定します。ビット長が大きいほどセキュリティは高くなりますが、パフォーマンスが低下する可能性があります。

暗号化サービス プロバイダー(S):

ビット長(B):

前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

5. CSR ファイルの保存先を指定し、終了ボタンを押します。



- 保存先は[administrator]のデスクトップ上などわかりやすい場所で結構です。
- ファイル名は、任意のものをご入力ください。(例 sslcsr.txt 等)

以上で作成は完了です。

指定した保存先(デスクトップ等)に CSR ファイルがありますので、  
こちらのファイルをお客様管理ポータルの[サポートチケット]にて  
該当ファイルを添付の上、ご連絡ください。